

東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第2回）

次 第

令和5年11月2日（木）
午前9時40分～午前11時40分
八丈支庁大会議室

1 開会

2 議事

（1）懇談会でのご意見を踏まえた今後の施策の展開について

3 閉会

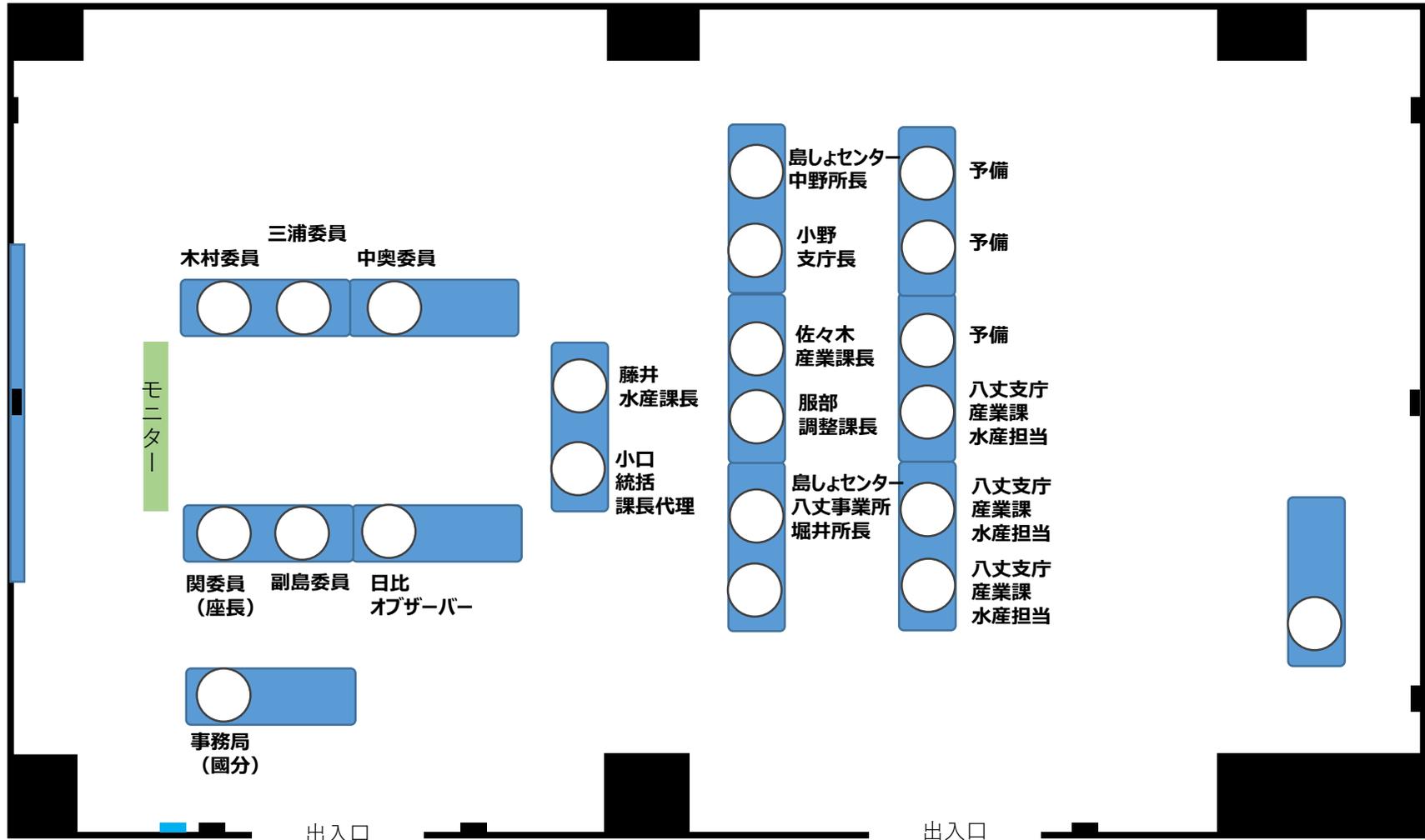
東京の水産業振興に向けた専門懇談会 専門家等名簿

氏 名		現 職 等
委員	木村 伸吾	東京大学大学院新領域創成科学研究科／大気海洋研究所 教授
	関 いずみ	東海大学人文学部 教授
	副島 久実	摂南大学農学部 准教授
	中奥 龍也	全国内水面漁業協同組合連合会 専務理事
	三浦 秀樹	全国漁業協同組合連合会 常務理事
オブ ザー バー	日比 絵里子	国際連合食料農業機関（F A O） 駐日連絡事務所長

（五十音順、敬称略）

第2回水産専門懇談会 座席表

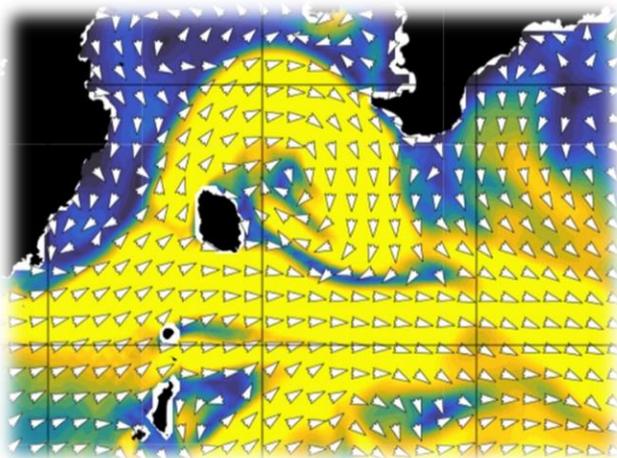
令和5年11月2日開催
八丈支庁大会議室



- 2口コンセント
- LANポート (TAIMS) & テレビ会議用ポート



東京の水産振興に向けた 専門懇談会 (第2回)



水産専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性①

分野

海洋環境

委員からの意見

○資源管理

- 伊豆諸島でのキンメダイの産卵親魚の保全に取り組むべき
- 漁獲データの迅速な収集体制を構築すべき

○海洋環境の変化

- 海洋環境変化の把握や、漁獲減少の要因究明を進めるべき
- カーボンクレジット取引は新たなビジネスチャンス
- 藻場の保全など漁場環境の回復に取り組むことが重要

施策の方向性

○資源管理

- 大学と連携した移動生態等の解明
- デジタル技術を活用し、迅速な操業情報収集体制を構築

○海洋環境の変化

- 施設や設備など研究基盤を強化
- ブルーカーボンのクレジット化
- 気候変動に対応した漁場造成の推進

今後検討

- 単一魚種に依存しない、複合的な漁業操業形態への転換

水産専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性②

分野

経営

委員からの意見

○漁業協同組合の経営

- 漁獲の伸びが期待できない中、収益力の高い経営体への転換が必要

○漁業所得の向上

- 漁獲が減少し続ける中、高付加価値化や低未利用魚の活用、養殖業の検討等も行うべき
- 獲れる魚種も変化していることから、操業転換支援や新たな販路開拓等の支援も必要
- 魚価向上には海外販路開拓も重要

施策の方向性

○漁業協同組合の経営

- DXの活用による漁協業務の効率化

○漁業所得の向上

- 衛生管理体制の改善や生産物の品質向上の取組を支援
- 漁獲魚種の変化に対応した新商品開発や販路開拓等を支援
- 漁業生産団体の海外販路開拓を支援

今後検討

- 陸上養殖の導入
- 操業転換への支援

水産専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性③

分野

マーケティング・ブランド化

委員からの意見

○対象を絞ったマーケティング

- 魚の価格が高くて購入する層への働きかけが重要
- 購入決定権を持つ女性向けのマーケット戦略の構築が有望
- 漁村女性起業家の取組事例の収集等により、多様な担い手の発掘・育成につなげることも重要

施策の方向性

○対象を絞ったマーケティング

- 「ブルーシーフード」の普及や消費を推進
- 子育て世代の女性等を対象としたイベントの開催
- 他地域への視察や交流の場への参加を支援

水産専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性④

分野

漁村地域活性化、人材育成

委員からの意見

○漁村地域の活性化

- 世代交代期に入った漁協女性部の活動支援が重要
- 新たな商品開発にあたっては、ファン層と連携した取組が効果的
- 漁村の経済・文化活動を重視し、多様な人材交流機会を確保すべき

○人材育成

- 漁業後継者や漁協職員の確保・育成が課題

施策の方向性

○漁村地域の活性化

- 漁協女性部の食育活動等を支援
- 消費者の意見を踏まえた新規魚種の加工品開発を支援
- 他地域への視察や交流の場への参加を支援（再掲）

○人材育成

- 漁業人材とのマッチングを充実

今後検討

- 円滑な事業継承の支援
- 海業の導入による漁村地域の活性化

水産専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性⑤

分野

内水面漁業活性化

委員からの意見

○魅力的な釣場作り

- コンセプトを明確にし、ターゲットを絞った釣場づくりが必要
- 遊漁者確保に向け電子遊漁券の導入とビッグデータ活用を図るべき
- 釣り場づくり等に若者や地区外の人の感性等を積極的に活用すべき

○多摩川のアユの活用

- 多摩川のアユの資源の安定化や、ブランド化に向けたPRが必要

施策の方向性

○魅力的な釣場作り

- 多様な漁場づくりを支援
- 遊漁者の確保に向けたサービスの充実
- 都民や釣り人等の意向に基づく新しい釣場づくり

○多摩川のアユの活用

- 「江戸前アユ」を増やし活用するための取組を支援

今後検討

- ビッグデータを活用したマーケティング戦略の構築
- 外部人材の活用